

平成29年度 県土整備部環境配慮事例報告書

位置図・平面図等

事業主管課	道路整備課
実施機関	県土整備部(美波)

【事業の概要】

事業の種類	道路の整備	一般国道、県道、街路
事業箇所名	海部郡美波町	
事業の規模・状況	2 km	小規模事業a 計画段階

【事業の目的及び概要】

南海トラフの巨大地震による津波の影響で恵比須浜地区が孤立する恐れが高いことから、避難路及び復旧・復興のための道路を整備する。

【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気	騒音・振動	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○				○		○	○

【特に配慮した環境要素と検討事項】

平成25年度の道路環境調査業務において徳島県RDBで絶滅危惧IB類に指定されている希少植物が改変予定地で確認され、保全対策として移植と移植後モニタリングを実施した。

平成26年 移植地へ試験移植を実施。

平成27年 移植地へ試験移植を実施。

平成28年 移植地での活着状況が概ね良好であると評価され、11月に自生地の全個体を移植。

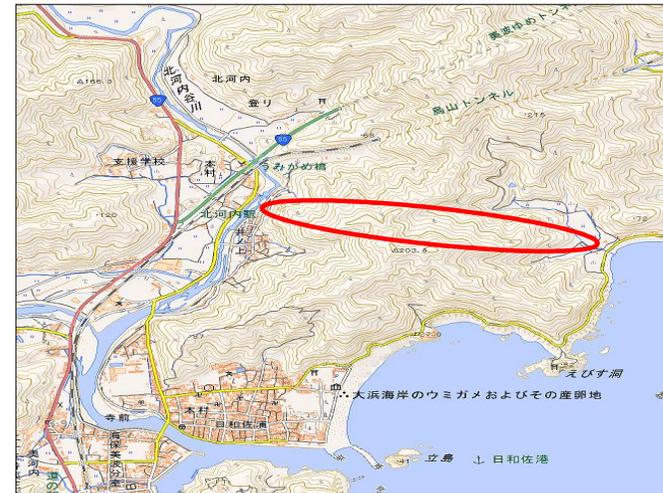
平成29年 秋に移植地水路が増水し、植生が流出する攪乱があったが、本種の活着を確認した。同時に、移植地で初の実生個体が確認された。

【目標に対する達成状況】

希少種の保全：本種確認時の保全計画策定段階より、環境配慮アドバイザーの助言を得ながら保全対策の計画実施を行った。各年の移植モニタリング結果をアドバイザーに報告し、次回の移植を協議した結果、良好な本種の保全が図られた。

【検討事項に対する評価】

実施者	環境配慮アドバイザーの評価→保全策実施→再評価によって順応的保全計画を滞りなく遂行できた。
主管課	環境配慮アドバイザーの助言により、本希少種の良い保全が図られた。
専門家	



写真、図面等

